

令和7年度 共通テーマ

— **今求められるもの**

地域の記憶を継承する

カムチャツカ先住民の
語りから見る
日本・ソ連・ロシア

なくてはならないのに、
見えにくいのはなぜ？
—— ケアから考える社会のしくみ

農村はどこに
向かっているのか

企業の社会的責任
(CSR)とは何か？
鈷路湿原における
太陽光パネル設置を考える



釧路公立大学
釧路市芦野4丁目1番1号

大澤 教授

甬山 准教授

岡田 准教授

永山 教授

2025

釧路市生涯学習センター
釧路市幣舞町4番28号

大澤 教授

受講無料



Kushiro Public University of Economics

お問い合わせ

釧路公立大学 総務課

TEL(0154)37-3211 FAX(0154)37-3287

URL <https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

E-mail info@kushiro-pu.ac.jp

- 対象／高校生以上

- ## ■ 受講方法

お申込みの必要はありません。
ご自由にご来場ください。

地域の未来

— 今求められるもの —



大澤 理沙 教授

なくてはならないのに、
見えにくいのはなぜ？
— ケアから考える社会のしくみ

子育てや介護、家事などのケアは、私たちの命や暮らしを支えるうえで欠かせない営みです。しかし、その価値は十分に認識されておらず、担い手も正當に評価されているとは言えません。ある人はケアを意識することなく日々

を送り、またある人はケアに追われ心身をすり減らしている——こうした状況は、ケアに依存しながらも、それを支える仕組みを持たない現代の経済システムの矛盾を映し出しています。本講座では、これまでのケアをめぐる議論をふまえ、ケアの現状と課題についてお話しします。

永山 ゆかり 教授

地域の記憶を継承する
— カムチャッカ先住民の
語りから見る
日本・ソ連・ロシア

千島列島の北に位置するカムチャッカ半島は、かつては露領漁業の中心地であり、多くの日本人がサケ・マス漁に従事していました。しかし、当時日本人と先住民との交流があったことはあまり知られていません。また、

カムチャッカ先住民の生活や文化は、近代化の名の下に大きな変革を強いられましたが、ロシア史研究ではほとんど扱われていません。本講座では、フィールドワークで得られた語りを通して、先住民の視点からカムチャッカの歴史を紹介し、地域の記憶や歴史の継承について考えます。

畠山 啓 准教授

企業の社会的責任
(CSR) とは何か？
— 釧路湿原における
太陽光パネル設置を考える

現在企業は経済的責任（利益を上げる）法的責任（法律を守る）だけではなく、3つ目の責任として社会的責任が求められています。また釧路湿原周辺では多くの太陽光パネルが設置され、貴重な景観や生態系への影響が懸念

されています。では太陽光パネル設置企業は上記の3つの責任を果たしていると言えるのでしょうか。本講座では企業の社会的責任（CSR）とは何なのかを踏まえたうえで、釧路湿原における太陽光パネルの設置を企業の社会的責任（CSR）の観点から考えていきます。

岡田 登 准教授

農村はどこに
向かっているのか

釧路市の街を少し離れると広大な酪農地域が広がっています。このような農村は都市の影響を受けながら、その役割や意義を徐々に変化させています。また、農村的現象は農村だけでなく、都市内

部にも出現することもあります。この講座では農村と都市の関係性から、農村が今どこに向かっているのかを解説し、農や食を中心とした地域づくりの方策を考えます。

